

4 果樹栽培と水産業における人々の工夫や努力

○果樹栽培における農家の人々の工夫

東北地方：盆地や傾斜地、扇状地で（果樹栽培）が盛ん

山形盆地（山形県）：県の中央部に位置し、果樹栽培が盛ん

〔さくらんぼや西洋なし、ぶどうなどを栽培

観光農園を開く取り組みを行う

→高速道路や空港が整備され、全国各地にも出荷される

例）さくらんぼ：「佐藤錦」・「紅秀峰」など

青森県：津軽平野^{つがる}を中心にりんごの栽培が盛ん

→近年、中国や台湾などへ輸出

福島県：福島盆地などで桃の栽培が盛ん

○生活に根ざした水産業の営み

三陸海岸の沖合い：親潮と黒潮が出会う（潮目（潮境））があり、豊かな漁場となる

例）八戸^{はちのへ}や気仙沼^{けせんぬま}、石巻^{いしのまき}の漁港など

三陸海岸の入り江や陸奥湾^{むつ}：波が穏やかで、かきやわかめなど（養殖業）が盛ん

→漁港の周辺には食品加工の工場が立地

→東日本大震災で被害を受けるが、水産加工場の再建など復興を目指す努力も続く